

トヨーエイテック株式会社(本社:広島市宇品)

東洋工業(現マツダ株式会社)の一部門として自社用に内面研削盤の製造を開始し、その後時代のニーズに応えるべく、1989年にマツダ株式会社より分社独立。工作機械、自動車部品、表面処理の3事業において卓越した技術力を駆使し、自動車、家電、軸受、半導体業界など多くの基幹産業の発展に貢献しています。

事業内容

- ・工作機械事業(工作機械の研究・開発・設計・製造・販売)
- ・自動車部品事業(自動車部品の研究・開発・設計・製造・販売)
- ・表面処理事業(ハードコーティングの研究・開発・設計・製造・販売)

主要製品名

■工作機械事業

内面研削盤(横形、立形)、超大型立形研削盤、外径研削盤
歯車研削盤、ホーニング盤、超仕上盤、スクロール加工機
半導体・太陽電池・パワー半導体・LED用マルチワイヤソー
各種レトロフィット、ラインコントローラ(FAシステム)
工作機械NC制御装置、工作機械部品

■自動車部品事業

オイルポンプ、フューエルレール、フューエルポンプカム

■表面処理事業

ハードコーティング(CVD/PVD/DLC、複合処理、PPD処理、一貫加工)

加工/技術

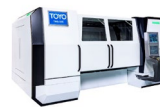
主力製品の内面研削盤は金属・セラミックス部品の内径を加工する加工機械で、ダイヤモンドやセラミックスを固めた砥石で加工します。回転数が低いと研削面が荒れ、高すぎると砥石が割れるという現象を回避するため、ホイールヘッドと呼ばれる独自のスピンドルで切り込み速度と回転数を制御しています。弊社の内面研削盤は40ヶ国以上の国で使用され、国内外多くのお客様から支持を受けています。

■本社工場



本社工場はマツダ構内(宇品地区)にあります。

■製品紹介



横形内面研削盤



オイルポンプ



CVDコーティング

国内トップシェアを誇る内面研削盤をはじめ、マツダ SKYACTIVエンジンに搭載される高性能オイルポンプやフューエルレール、金型・工具等の耐久性を高める等の表面処理技術の開発・製造を行っています。

■技能育成塾



生産現場における優れた技能の継承を目的として、2002年に「技能育成塾」を開設。卓越技能者の高度な技能を継承し、「ものづくり」の核となる技能を製造現場において維持、確保しています。

会社概要

代表者	代表取締役社長 早野 祐一
本社所在地	〒734-8501 広島県広島市南区宇品東5-3-38
支店・工場	同上
TEL	082-252-5228
FAX	082-252-5288
URL	https://www.toyo-at.co.jp/
E-mail	recruit@toyo-at.co.jp
設立	1950年7月26日
資本金	30億円
従業員数	男性620名／女性64名 計684名
工場規模	[敷地] 53,264㎡ [建屋] 45,236㎡
認証・資格等	ISO9001・ISO14001・ISO13485・IATF16949

主要設備

・五面加工機(5台) ・マシニングセンター(5台) ・門型平面研削盤(2台) ・複合加工機(5台) ・NC内面研削盤(6台) ・NC円筒研削盤(4台) ・NC平面研削盤(3台) ・NC旋盤(4台) ・NCフライス盤(6台) ・放電加工機(6台) ・その他工作機械(68台)	※取引先未公表 ▼取引先業種 ・軸受(ベアリング) ・自動車、自動車部品 ・家電(コンプレッサー) ・半導体(シリコンウエハ) ・一般機械 他
--	---